

せん

ぼ

通信

No.73

ば・あ・や・の・う・け・う・り

〔無尽〕

山梨出身の男性が、実家へ里帰りすれば友達との飲み会が続く…と。そんなに…? 「山梨には無尽(むじん)があって、それで…」

あっ無尽ね…それでは飲み会も多いわね。「無尽知っているんですか?」 会津若松に住んでいた時に、教えてもらったので。

無尽とは、友達…同業者…同郷などの縁で仲間を作り、お金を出し合って貯めてて、困った仲間に貸してやり、借りた人は後で返す。銀行の基になったしきみで、情報交換のため会食も定期的に。武士の時代からあって、現代は、同級生とかで仲間を作り、「無尽」という飲み会が続けられてきた。

昔の会津若松市内は、大きな料亭や飲食店が狭い所にいっぱいあって、こんな所に観光客は来ないし…と、不思議に思っていました。無尽が、会津と甲府にあったということは、あちこちの城下町にあったのでは…。

ずっと昔から、人々はできることで助け合ってきた…農作業は「結(ゆい)」という形で…。

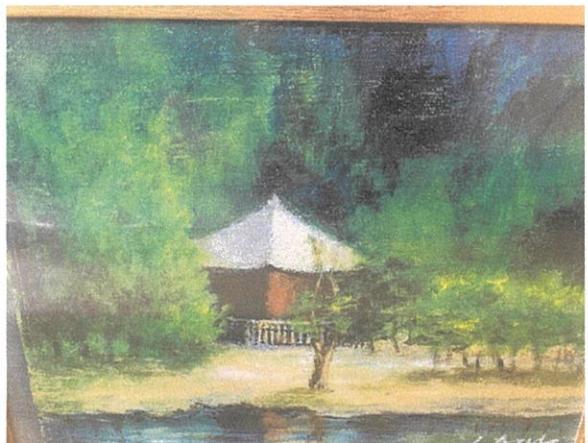
これからも…新しい形の助け合いで、共に生きていきますよね…きっと。

くだものがおいしい季節になって…
店のミカンを見て、お客様が、「このミカンは地元の?」 いえいえ熊本産です。
お客様はどちらから? 「京都だよ…」
後日、別のお客様が、柿を見て、「これは地元産?」 いえいえこの柿は、和歌山産です。
お客様はどちらから? 「茨城だよ…」 うふふ…
山の中の店なので、地物かな?と思うんですね。
おだやかな秋晴れが続いていて、稻刈りも順調そうで、コンバインのピッピッの音が、稻穂の上をおどっているよう…。
昨年の台風のような大荒れになりませんように。

古希夫婦黙々すすむ秋の膳

「ミヤコ先生は、二瀬中学校で3年間担任だったのです。高校に進学したかったけど山の中なので、あきらめて洋服の仕立ての修行に。普通5年だけど、私は完全に技術を身につけたくて10年修行して独立。店が市役所の近くだったので、たくさんの注文をいただきました。『こここの服でなきやだめだ』と、今でもたのまれて…」といわき市の安藤さん(83歳)。2018年に、黄綬褒章を受賞され、趣味の油絵では、公民館の講師をされ、個展も開催されたようです。頭が下がるお話で、技術だけではなく、お人柄の良さで、いわきの皆さんに愛されてきたのですね。

「供養になると、いわれているので…」と、母の仏前に、初夏の「国宝白水阿弥陀堂」の油絵をいただきました。



ありがとうございました